

まちづくりほっとライン

田岡博行さん〔株〕権総合プランニング 代表〕

プロフィール

1948年 徳島県生まれ

1972年 神戸大学工学部建築学科卒業
COM計画研究所入所

1977年 権建築事務所設立
(2005年4月現社名に変更)

1974年にスタートした豊中庄内地域における住民参加のまちづくり、また1976年に呼びかけが始まった泉北原山台におけるコーポラティブハウスづくりに参加、以来一貫して参加型のまちづくり・すまいづくりにおける専門家コーディネーターとして活動中。



□得意なこと

立場の異なる様々な人々の様々な思いを、立場の違いを越えて実現していくための共同作業を通じてひとつひとつ着実に実行する。

□まちづくりで私が大切にしたいこと

まちづくりの目標が、本当にそこに暮らす人々の日々の生活の中から生まれ出たものであるか、また、それが暮らしをどのように変えていけるのか、ということに常に自問し確認しながら取り組みたい。

□まちづくり活動における活動実績

①西成地区のまちづくり

「地区総合計画作成」「北津守地区・今宮駅前地区・なにわ筋沿道地区整備構想作成」「長橋地区・旭地区住宅改良事業支援」ほか

②泉佐野・鶴原地域のまちづくり

「鶴原団地建替事業支援」「扇湯建替検討支援」「まちづくり構想作成支援」ほか

③茨木・沢良宜地区のまちづくり

「島地区ふれあいゾーン整備検討支援」ほか

④民間老朽住宅建替・設計コーディネーター

「共同建替事業(増井マンション、ブランコート)」「協調建替事業(シャンベル北村)」「単独建替え事業(オーキッドコート)」ほか

⑤コーポラティブハウス・設計コーディネーター

「ハーモニービレッジ」「西田辺コーポラティブハウス」「ザコバ市場住宅」ほか

□これまでの活動をふり返って

まちや暮らしをめぐる様々な思いの違いや、温度差を感じて絶望の淵に立たされることも度々。そんな時、必ず一緒に悩み考え、応援してくれる人がいて、粘り強く話し合える場が残されていたことで何度も救われました。

まちづくりの取り組みが成功するかどうかは、それぞれの取り組みの中で、人と人のつながりをどれだけ感じられるか、の一点に掛かっていると言っても過言ではないと思います。

□ここが私の売り!!

なんでも楽しいことが好き、人が好き。

まちづくりも楽しくなければ、誰も参加してくれないし、持続できません。そのためにいろんなジャンルの人々と喜びを共有できるポケットをできるだけたくさん持ちたいと願ってきました。

そして、私自身を磨きあげることについては十分ではありませんが、協働することを楽しめるヒトのネットワークは見つけられたのでは……と自負しています。

これこそが私にとってかけがえのない財産であり、まちづくりを応援していくうえでの強力な武器になり得るものと確信しています。



北津守地区まちづくり構想づくり



今宮地区まちづくり構想づくり



コーポラティブ住宅づくり

まちづくりほっとライン

川井 友二さん〔㈱權総合プランニング〕

プロフィール

1976年埼玉生まれ。2001年、東洋大学大学院工学研究科建築学専攻を修了後、(株)權建築事務所(現(株)權総合プランニング)に入社。西成地域を始めとして、大阪府下の同和地区におけるまちづくりに数件参画し、現在にいたる。専攻領域はまちづくり計画。著書に「まちづくりとコミュニティワーク」(共著、解放出版社)。



□得意なこと

あまり大きな声では言えませんが、建築学科卒なのに、建築の知識がまったくなかったり、頭があまり良くなかったりするもので、胸をはって得意と言えるようなことはほとんどありません。ですが、とりあえず、何事も最後まであきらめないで努力することだけは、人並み程度には出来ていると思われしますので、それを得意なことということにしておいていただくとありがたいです。実際そうでもなかったりもするんですが、そこはお察しく下さい

□まちづくりで私が大切にしたいこと

どんな立場の人に対しても、傷つけない言動をすることを心がけています。まちの中には色んな立場の人がいて、色んな考えを持っている人がいます。それら人たちの立場や考えを否定せず、その上で素直な意見を言ってもらえるような場を設けることを心がけて、ワークショップなどの現場に挑んでいるつもりです。ま、あくまでも“つもり”なもので、実際に出来ているかどうかは不明でございます。

□まちづくり活動における活動実績

- ・夜店通り周辺まちづくり構想の策定業務(大阪市西成区)
- ・鶴原地区まちづくり推進協議会への専門家派遣業務(泉佐野市)
- ・島地区計画におけるふれあいゾーン・人権のまちづくり検討会への専門家派遣業務(茨木市)他

□これまでの活動をふり返って

西成地域の公衆浴場の出口調査をしたことが最も印象に残っています。とにかく大変で、これから風呂に入ろうかと素っ裸になっているおっさんを捉まえて、「アンケートにお答えください」なんて、まじめな顔して言っている自

分が可笑しくて、今でも笑ってしまいます。ただ、その苦労が西成くらし組合の設立につながったわけで、やってよかったなあと思っています。

□ここが私の売り!!

まだまだ若造なもので、売りといえるほどのものはありませんが、直向にがんばっているつもりなので、生温かく見守っていただくと幸いです。ただ、あくまでも“つもり”なもので、期待を大きく裏切ることも多々ありますが、そこも、どうかお察しく下さい。



鶴原まちづくりワークショップ



西成子どもタウンウォッチング